

第 29 回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会〔日本整形外科学会教育研修講演〕

【2022年9月2日（金）】

セッション分類	時間	会場	演 題 名	講 師	認定単位	種別分野	認定番号	受講欄
Spine Leader's Lecture1	8:20～ 9:20	第2会場	脊髄空洞を生じた脊髄癒着性くも膜炎に対する S-S bypass 手術の治療成績	河野 修	1 単位	N-7, SS	22-0759-001	
			脊髄癒着性くも膜炎の手術療法	小柳 泉				
Spine Leader's Lecture2	9:25～ 10:25	第2会場	脊髄空洞による次世代の脊髄・神経機能診断	川端 茂徳	1 単位	N-1, 7, SS	22-0759-002	
			電気生理による脊髄、神経根の評価	今城 靖明				
ランチョンセミナー1	12:10～ 13:10	第1会場	脊椎後方 instrumentation 変遷における私流の歴史的理解と使用方法；頸椎疾患を中心に	清水 敬親	1 単位	N-7, SS	22-0759-005	
ランチョンセミナー2	12:10～ 13:10	第2会場	骨粗鬆性椎体骨折に対する治療戦略 一軽症から最重症例まで、脆弱骨にいかに対峙するか？一	西田康太郎	1 単位	N-4, 7, SS	22-0759-006	
ランチョンセミナー3	12:10～ 13:10	第3会場	脊椎脊髄疾患に対する最小侵襲脊椎治療 一新技術を中心に	石井 賢	1 単位	N-7, SS	22-0759-007	
ランチョンセミナー4	12:10～ 13:10	第4会場	脱・Failed Back Surgery Syndrome (FBSS)一神経障害性疼痛と心理社会的疼痛に対する治療戦略一	稲毛 一秀	1 単位	N-7, 13, SS	22-0759-003	
			外傷性頸髄損傷管理の pearls and pitfalls	前田 健				
ランチョンセミナー5	12:10～ 13:10	第5会場	両開き式頸椎椎弓形成術における椎弓間スパーサーの長期経過とプレートシステムについて	中川 幸洋	1 単位	N-7, SS	22-0759-004	
			ロッキング機構を持つチタン製頸椎片開プレートの使用成績	藤原 翔				
Spine Leader's Lecture3	13:15～ 14:15	第2会場	低侵襲前側方腰仙椎固定術 (OLIF51) の手術手技と臨床成績	小谷 善久	1 単位	N-7, SS	22-0759-008	
			再確認、LIF の合併症対策～OLIF25 を中心に	折田 純久				
Tea Time セミナー2	13:20～ 14:20	第3会場	頸椎後方固定術における術中頸椎アライメント調整 一新たなヘッドポジショニングシステムを用いた頭部固定と手術手技	金山 修一	1 単位	N-7, SS	22-0759-009	
			脊髄空洞症の発生機構について	張 漢秀				
Tea Time セミナー1	14:25～ 15:25	第2会場	高齢者腰椎変性疾患に対する可動性を有する椎弓根スクリューによる制動術の有用性	江口 和	1 単位	N-7, SS	22-0759-010	
			ACR を用いた変形矯正術の手術手技の実際とその効果	齋藤 貴徳				
Tea Time セミナー3	14:30～ 15:30	第3会場	可動性を温存した頸椎前方手術 一key hole surgery を中心に一	原 政人	1 単位	N-7, SS	22-0759-011	
			幅の広いブーメラン型ケージを用いた下位腰仙椎椎体間固定における前弯形成・骨癒合獲得の工夫	山田 勝崇				
Tea Time セミナー4	15:00～ 16:00	第4会場	脳脊髄液漏出症の外科治療	高井 敬介	1 単位	N-7, SS	22-0759-012	
			硬膜病変の最新知見	内門 久明				
イブニングセミナー1	15:30～ 16:30	第2会場	頸椎神経根症に対する顕微鏡下頸椎前方椎間孔拡大術 (MacF) 一 transuncal approach 一	土屋 直人	1 単位	N-7, SS	22-0759-013	
			頸椎症性脊髄神経根症における片開き式椎弓形成術と椎間孔拡大術の併用においてチタン製インプラントは有用である 一神経根除圧を忘れないで！一	山崎 昭義				
イブニングセミナー2	15:35～ 16:35	第3会場	DISH を伴う脊椎骨折に対する側臥位手術	生熊 久敬	1 単位	N-7, SS	22-0759-014	
			首下がり治療の decision making	宮本 裕史				
イブニングセミナー4	15:45～ 16:45	第5会場	原発性脊椎/傍脊椎腫瘍に対する診断・治療戦略	松本 嘉寛	1 単位	N-5, 7, SS	22-0759-016	
			転移性脊椎腫瘍に対する TES の現状	川原 範夫				
イブニングセミナー3	16:05～ 17:05	第4会場	脊髄動脈奇形病変の診断と外科治療	遠藤 俊毅	1 単位	N-7, SS	22-0759-015	
			腰椎周辺疾患並びに下肢の絞扼性末梢神経疾患の診断のコツ並びに病態、治療	井須 豊彦				

【2022年9月3日(土)】

セッション分類	時間	会場	演 題 名	講師	認定単位	種別分野	認定番号	受講欄
Spine Leader's Lecture4	8:30~ 9:30	第2会場	高齢者の脊柱変形を伴う腰椎変性疾患に対する矯正固定手術～胸椎から骨盤までの矯正固定ができるようになってからの反省～	寺山 星	1単位	N-7,11,SS	22-0759-017	
			成人脊柱変形矯正固定術における近位固定端へのアンカー設置法	福田健太郎				
ハンズオンセミナー1	9:25~ 10:25	第5会場	超音波ガイド下神経根ブロックによる高位診断と低侵襲頸椎手術	石原 慎一	1単位	N-7,SS	22-0759-018	
			頸髄損傷に対する早期除圧術	井口 浩一				
Spine Leader's Lecture5	9:40~ 10:40	第2会場	ゼロから始めたデジタルトランスフォーメーション(DX)・VR/ARの開発 一骨粗鬆症診療・メタバース(仮想空間)の試み	成田 渉	1単位	N-7,SS	22-0759-019	
			私のPSO一師から受け継いだテクニックとフロアブル止血材を用いた止血手技	中尾 祐介				
ハンズオンセミナー2	10:40~ 11:40	第5会場	頸椎手術における我々の小技	河村 直洋	1単位	N-7,SS	22-0759-021	
Spine Leader's Lecture6	10:50~ 11:50	第1会場	頭蓋頸椎移行部手術 一後方手術	下川 宣幸	1単位	N-7,SS	22-0759-020	
			頭蓋頸椎移行部病変への前方アプローチ	尾原 裕康				
ランチョンセミナー6	12:00~ 13:00	第2会場	手術支援ロボット	金村 徳相	1単位	N-7,SS	22-0759-026	
ランチョンセミナー7	12:00~ 13:00	第3会場	骨粗鬆症性椎体骨折に対する包括的治療体系 一薬物治療も含めて	中村 博亮	1単位	N-4,7,SS	22-0759-023	
ランチョンセミナー8	12:00~ 13:00	第4会場	脊椎手術の止血	佐々木寛二	1単位	N-14-5,SS	22-0759-022	
			血管剥離と止血におけるコツと落とし穴～血管外科医からの本音のメッセージ～	須田 久雄				
ランチョンセミナー9	12:00~ 13:00	第4会場	脊髄腫瘍手術を安全に行うための基本原則と技術革新	高見 俊宏	1単位	N-5,7,SS	22-0759-024	
ランチョンセミナー10	12:00~ 13:00	第5会場	Expandable cageの良いとこ、悪いとこ 一設置の仕方のPitfall	坂本 武志	1単位	N-7,SS	22-0759-025	
Spine Leader's Lecture7	13:10~ 14:10	第2会場	脊椎手術における出血コントロールのいろは	渡邊 慶	1単位	N-7,SS	22-0759-028	
			脊柱変形に対する側方侵入椎体間固定術のpitfalls	木村 敦				
Tea Time セミナー5	13:10~ 14:10	第1会場	サイエンスを基盤にする医療材料の進化が脊椎外科医療の未来を拓く	伊東 学	1単位	N-1,7,SS	22-0759-029	
Spine Leader's Lecture8	14:15~ 15:15	第2会場	頸椎OPLLに対する前方除圧のテクニック	菅原 卓	1単位	N-7,SS	22-0759-027	
			What we thought, what we did. 一困難な症例への挑戦・失敗から学んだこと	久保田基夫				
イブニングセミナー5	15:30~ 16:30	第3会場	術後感染予防のための銀含有脊椎抗菌インプラントの役割	森本 忠嗣	1単位	N-7,SS	22-0759-030	
			脊椎外科における3Dプリンタの応用と実際	安倍雄一郎				

N: 日整会専門医単位 SS: 脊椎脊髄病医単位

[1] 整形外科基礎科学、[4] 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)、[5] 骨・軟部腫瘍、[7] 脊椎・脊髄疾患、[11] 骨盤・股関節疾患、[13] リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む)、[14-5] 1~13ならびに14-1~14-4に当てはまらないもの(医療全般にわたる講演会)

\*受講欄に✓をいれてください

\*会期中に取得できる単位の上限は7単位×開催日数となります。

受講料 1,000円 × 単位 = 円

所属:

氏名:

専門医

非専門医